

## 第2章 | 国東市の将来像

### 第1節 将来像

これまで国東市は、歴史に彩られた文化や伝統を中心にしたイメージで語られて来ました。一面では、そのイメージは、現在でも本市の持つ最大の魅力となっています。しかし、本市の現状を見るに厳しい人口減少社会を迎えているのも事実と

なっています。そこで、新しい国東市の将来像は、これまでの本市のイメージを大事にしながらも新しいイメージにも挑戦する宣言として、市の現状やこれまでの計画の視点、市民の意向や最新の社会・経済の動向を踏まえ、以下の通り設定します。

### 悠久の歴史と賑わいの空間で織りなす ハイブリッド都市「くにさき」

近年、ハイブリッドという言葉は、「異なる方式を一つの組織の中うまく組み込むこと。(新明解国語辞典)」という意味で使われることが多く、神仏習合の文化や半導体産業と第一次産業、ケベスとトウバが出現するお祭り、航空機と峯入り行事等に見られるように「くにさき」は、元々多様なものが混在し、受け継がれてきたハイブリッドな場所であると言えます。

この将来像は、「悠久の歴史」という、これまで培ってきた穏やかな自然に彩られた歴史や伝統の魅力を縦糸に、「賑わいの空間」という商業・産業・文化が集積した新たな都市的拠点空間の魅力を横糸に、名産の「豊後表」(七島筵—むしろ—)を織り上げるように市民や企業、団体、行政が協働(※)により「くにさき」を織り上げることで、それぞれの魅力が同時に輝いている全体像を成すさまを表現しています。

加えて、ハイブリッド都市という言葉で、元々ハイブリッドな場所である「くにさき」をより深化させる意味からも、エンジンとモーターの両方で自然環境に優しく前進する「ハイブリッドカー」のように、「悠久の歴史」や「賑わいの空間」、地元の住民と新しい移住者、第一次産業と6次産業、世界農業遺産とアートなど、異なる多様な要素や方式を同時にバランス良く利用して「人口増加」という目標に向かって前進する「くにさき」の都市像も同時に表現しています。

さらに市民憲章の「豊かな自然と先人から受け継いだ文化」を「悠久」に「心豊かで活気あふれる」を「賑わい」として表現し、市民憲章の精神をも反映させる将来像となっています。

※協働…目的を達成するためお互いが補完・協力しあうこと。

## 第2節 基本目標と重点戦略プロジェクト

この計画は、「戦略的総合計画」の位置づけにありますので政策個別分野ごとの基本目標ではなく、簡素でわかりやすく政策の立案の灯火になりやすい基本目標を掲げます。これからの数年間、全国的な情勢や財政の観点からも、本市は自治体としての分水嶺を迎えます。そのような時代にあっては、何よりも自治体の基本である人口に焦点をあてて考える必要があります。本市は、何としても人口減少を逆転させ、あらゆる政策を動員して人口を増加させる必要があります。

また、個別の分野別計画は基本計画に譲り、基本構想である「将来像」や「基本目標」達成のためには、個別の分野政策ではなく部局横断的な政

策こそが効果的でありますので、今回、部局横断的な「重点戦略プロジェクト」を政策大綱として掲げました。

基本計画に記述される事業には、現段階での国・県と連携して実施する事業や現在進行形の事業、あるいは今回の計画による新規の事業を掲載していますが、以下に記述した重点戦略プロジェクトに示した方向性で毎年の実施計画等検証しながら絶えず既存事業を取捨し、新たな政策について事業展開することとします。この重点戦略プロジェクトを基に実施される事業についてはこの重点戦略の方向性との整合性を図るものであればこの計画の事業としての積極的に展開することとします。

### 基本目標

地元力充実、定住力促進、新活力創出で  
人口増加都市「くにさき」を目指します。

### 重点戦略プロジェクト（政策大綱）

福祉・安全・子育て  
地元力充実プロジェクト

出会い・移住・担い手  
定住力促進プロジェクト

新産業・賑わい・観光  
新活力創出プロジェクト